

平成 2 5 年度決算に係る

定 期 監 査 調 書

平成 2 6 年 8 月

鳥取家畜保健衛生所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	1
6	主な事業に関する調べ	2
7	収入証紙取扱額調べ	4
8	収入事務処理状況調べ	4
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7
11	不納欠損額調べ	7
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	7
14	財産に関する調べ	8
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	10
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	11
19	寄附物件の受納状況調べ	11
20	備品の処分状況調べ	11
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11
○	意見、要望等	11
	(1) 業務に関する意見・要望等	
	(2) 監査委員事務局に対する要望等	
22	事業別予算執行状況調べ	12
23	家畜保健衛生事業	12

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
鳥取家畜保健衛生所	衛生指導担当	(1) 家畜保健衛生所法（昭和25年法律第12号）第3条の規定による家畜の伝染病の予防、家畜の保健衛生上必要な試験、検査等に関すること。 (2) 獣医事に関すること。 (3) 動物薬事に関すること。
	防疫担当	

4 職員の定員、現員調べ

（平成26年5月31日現在）

区分 \ 種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	
定 員	0	0	6	6	—	—	6	6	
現 員	0	0	6	6	—	—	6	6	
過不足(△)	0	0	0	0	—	—	0	0	
臨 時 職 員	0	0	0	0	—	—	0	0	
非常勤職員	1	1	—	—	—	—	1	1	一般事務（17日／月）

5 役付職員の調べ

（平成26年8月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	原 田 佳 典	年 月 2 4	
次 長	石 井 亮	1 4	出納員
課 長 補 佐	山 根 法 明	4	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要														
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算見込額 2,073千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 1,036千円</p> <p>一般財源 1,037千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 地域衛生管理対策等の各事業を実施することにより、家畜衛生管理体制を整備し、安全・安心な畜産物生産を推進する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 家畜衛生関連情報整備対策： 病性鑑定や農家巡回を実施することにより、家畜疾病の発生状況等をは握し、月ごとの家畜衛生関連情報を国に報告した。 また、月一回、情報交換会を開催し、臨床獣医師に家畜衛生関連情報を提供した。</p> <p>② 動物用医薬品危機管理対策： 動物用医薬品販売業者及び診療獣医師に対する動物用医薬品の適正な管理、流通、使用の指導</p> <table border="0"> <tr> <td>動物用医薬品販売店立入検査</td> <td>24店舗</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性菌実態調査</td> <td>7戸(牛 2戸、鶏 5戸)</td> </tr> </table> <p>③ 地域衛生管理対策：地域内の伝染性疾病の清浄性維持</p> <table border="0"> <tr> <td>飼養衛生管理基準</td> <td>83戸(牛 78戸、豚 5戸)</td> </tr> <tr> <td>乳房炎</td> <td>19戸 延19検体(ハル乳)</td> </tr> <tr> <td>幼畜疾病対策</td> <td>8戸(牛 5戸、豚 3戸) 延 32戸</td> </tr> </table> <p>④ 流通飼料対策：流通飼料の使用実態調査、適正使用の指導及び肉骨粉調査</p> <table border="0"> <tr> <td>飼料収去(肉骨粉検査)</td> <td>1業者(1検体)</td> </tr> <tr> <td>立入調査(乳用牛)</td> <td>5戸</td> </tr> </table> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果</p> <p>②の動物用医薬品販売店立入検査では、無許可品目販売などの不適切事例は見られなかった。</p> <p>③の乳房炎については、酪農家の伝染性乳房炎のまん延防止や搾乳衛生に対する意識が向上した。(伝染性乳房炎の陽性率：H23 77% → H25 36%)</p> <p>③の幼畜疾病対策については、疾病原因を分析し、農場ごとに早期発見、早期対策を実施した。</p> <p>また、豚繁殖・呼吸器障害が発生し、事故率が上昇した養豚農家1戸に対し、離乳後の豚房消毒、感染していない種豚の導入などを指導し、衛生対策の徹底を図った。</p> <p>エ 課題</p> <p>③の乳房炎については、関係者(大山乳業農協・獣医師)と連携し、伝染性乳房炎原因菌や発生要因の分析結果に応じ、搾乳機器の点検・保守、有効薬剤の検証と治療、感染牛の摘発・とう汰などのまん延防止対策を指導していく必要がある。</p>	動物用医薬品販売店立入検査	24店舗	薬剤耐性菌実態調査	7戸(牛 2戸、鶏 5戸)	飼養衛生管理基準	83戸(牛 78戸、豚 5戸)	乳房炎	19戸 延19検体(ハル乳)	幼畜疾病対策	8戸(牛 5戸、豚 3戸) 延 32戸	飼料収去(肉骨粉検査)	1業者(1検体)	立入調査(乳用牛)	5戸
動物用医薬品販売店立入検査	24店舗														
薬剤耐性菌実態調査	7戸(牛 2戸、鶏 5戸)														
飼養衛生管理基準	83戸(牛 78戸、豚 5戸)														
乳房炎	19戸 延19検体(ハル乳)														
幼畜疾病対策	8戸(牛 5戸、豚 3戸) 延 32戸														
飼料収去(肉骨粉検査)	1業者(1検体)														
立入調査(乳用牛)	5戸														

事業名	概	要
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算見込額 1,486千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 356千円 一般財源 1,130千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延止措置を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 家畜伝染病予防法第5条による告示検査 牛：ブルセラ病 220頭、結核病 217頭、ヨネ病 794頭、 馬：伝染性貧血 12頭 鶏：ニューカッスル病 890羽、HPAIサーベ イランス 450羽(8農場) みつばち：ふそ病 405群 注) HPAI：高病原性鳥インフルエンザ、サーベ イランス：調査監視検査</p> <p>② 病性鑑定の実施 牛 536件、豚 6件、鶏 20件、みちばち 1件、山羊 4件 その他 2件(飼料 1、外部寄生虫 1)</p> <p>③ 口蹄疫・HPAIの防疫対策 ○東部地区鳥インフルエンザ防疫演習の開催 8月6日 内 容：図上訓練、消毒ポイント及び防護服脱着訓練 出席者：東部・八頭総合事務所職員、市町村及び関係団体 約70名 ○鳥インフルエンザ防疫演習(殺処分)の開催 2月20日 内 容：炭酸ガスでの殺処分演習 出席者：家保、普及所、東部事務所の家畜防疫員 10名 ○全国HPAI机上防疫演習 11月20日 内 容：西日本JA畜産での発生を想定し、初動防疫終了までを演習し国に報告 ○県境防疫及び研修への参加 ・岡山県との県境防疫(8月22日：2名) ・兵庫県との県境防疫(9月4日：3名) ・県防疫リーダー研修(7月12日：3名) 主な目的 初動防疫業務の確認・習得、家畜防疫リーダーの養成 ○台湾・ロシアチャーター便搭乗者の靴底及び手荷物キャスターの消毒 4月5日、9月30日、10月26日(鳥取空港3便：延べ3名)</p> <p>④ 定期報告及び衛生管理基準の周知徹底 随時、農家への個別巡回を実施した。特に酪農家へは大山乳業農協等と連携し、1戸のモデル農家で衛生管理基準を徹底する具体的な手法等を毎月1回、検証、検討し、全農家に対して年2回、個別巡回指導した。</p> <p>⑤ 豚伝染性下痢(PED)の防疫対策 平成25年10月以降、九州を中心にPEDが発生し全国的に感染が広がっていった。本県でも平成26年3月に中部の1戸で発生したため、管内農家の衛生指導及び食肉センターでの防疫対策(消毒等)を全県で取り組み、現在まで続発はない。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点</p> <p>① 鳥インフルエンザ防疫演習として、防疫作業の中心である炭酸ガスによる殺処分を家畜防疫員で実施し、問題点や改善点を洗い出し、動員者の班体制や役割分担などを明確にした。</p> <p>② 前年に引き続き、海外からの渡航者に家畜伝染病の予防を周知し、空港での靴裏消毒等への協力を要請した。</p> <p>ウ 成 果</p> <p>① 告示検査の結果：法定伝染病1件(ヨネ病)の発生があった。</p> <p>② 病性鑑定の結果：届出伝染病6件(牛白血病：4、BVD：2)の発生があった。</p> <p>③ PEDの防疫対策を関係機関を含め全県で対応することができたことで、初発以降の続発もなく、初動防疫の効果が認められた。</p> <p>エ 課 題</p> <p>口蹄疫及びHPAIは、県内でも発生が危惧される疾病であり、発生時の対応強化のため、県全体での管理体制の一層の強化と県全体での防疫演習が必要である。 家畜伝染病予防法改正に伴い、飼養状況の定期報告、畜産農家の衛生管理基準の遵守及び特定疾病発生時の埋却地等の確保が義務化されたため、なお一層、農家への周知・指導が必要となる。</p>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成26年5月31日現在)
(単位：円)

収入科目			件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節	細節				
農林水産業手数料	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	1	2,000円	2,000円	「鳥取県手数料徴収条例(53)」
	計(節)		1		2,000	
目計			1		2,000	
合計			1		2,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成26年5月31日現在)
(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		1	7,980	7,980	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	(社)鳥取県畜産推進機構
	〃		1	10,500	10,500	0	0	〃	中国電力配電線施設(支柱等7本)
	〃		24	72,000	72,000	0	0	〃	職員等駐車場
	計(節)		26	90,480	90,480	0	0		
目計			26	90,480	90,480	0	0		
合計			26	90,480	90,480	0	0		

(3) 手数料

(平成26年5月31日現在)
(単位:円)

目 節	収入科目		件 数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備 考
	細 節								
農 林 水 産 業 手 数 料	畜 産 業 手 数 料	家畜防疫手数料	37件	689,900	689,900	0	0	鳥取県手数料徴収条例	
		フルセラ病検査	(220頭)	52,800	52,800	0	0	同条例(224)	@ 240
		結核病検査	(217頭)	52,080	52,080	0	0	"	@ 240
		ヨ一ネ病検査(ELISA)	(794頭)	539,920	539,920	0	0	"	@ 680
		馬伝染性貧血	(12頭)	15,600	15,600	0	0	"	@1,300
		ふそ病検査	(405群)	24,300	24,300	0	0	"	@ 60
		家畜検査証明	(13件)	5,200	5,200	0	0	"(225)	@ 400
		家畜保健衛生所手数料						鳥取県家畜保健衛生所の名称、位置及び管轄区域等を定める条例	
		フルセラ病検査							@ 920
		結核病検査							@ 600
		ヨ一ネ病ELISA検査							@2,390
		ヨ一ネ菌培養検査							@2,660
		牛白血病抗体検査							@2,390
	牛白血病遺伝子検査							@2,390	
	キャンピロバクター菌培養検査							@2,660	
	サルモネラ菌培養検査							@2,660	
	トリコモナス検査							@1,010	
	牛ウイルス性下痢・粘膜病遺伝子検査							@2,390	
	各種証明							@ 420	
	合 計			37件	689,900	689,900	0	0	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

該当なし

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4) 委託料

(平成26年5月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納付 等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考		
				予定価格	(契約年月日) 契約額	委託 期間			契約形態	履行検査 年月日	支出 区分		支出 年月日	金額
				変更契約(最終)										
家畜保健衛生費	単県	庁舎警備委託	ALSOK山陰 (株)	309,960	(H24.4.1) 309,960	H24.4.1 ~ H27.3.31	H24.3.23 (免除)	H24.4.30 外 H24.5.7 外	精	H25.5.13 外	103,320	債務負担		
予定価格が 20万円未満の もの											27,129			
目計											130,449			
合計											130,449			

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ
 (1) 公有財産
 ア 土地

(平成26年5月31日現在)

行政・普通 区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年 月 日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	鳥取家畜 保健衛生 所用地	鳥取市国安字 高土手210-9	764.56	0	増加	H	0	0		H	764.56	0	
					減少	H	0	0					
	"	鳥取市国安字 高土手210-13	2,044.53	0	増加	H	0	0		H	2,044.53	0	
					減少	H	0	0		H			
計			2,809.09	0			0	0			2,809.09	0	
普通財産	鳥取家畜 保健衛生 所通路	鳥取市国安字 高土手210-13	337.02	0	増加	H	0	0		H	337.02	0	
					減少	H	0	0		H			
計			337.02	0			0	0			337.02	0	
合計			3,146.11	0			0	0			3,146.11	0	

イ 建物

(平成26年5月31日現在)

行政・普通 区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年 月 日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	事務所	鳥取市国安210-13	399.36	不明	増加	H				H	399.36	不明	
					減少	H				H			
	車庫	"	23.45	不明	増加	H				H	23.45	不明	
					減少	H				H			
	焼却炉上屋	鳥取市国安210-9	17.50	不明	増加	H				H	17.50	不明	
					減少	H				H			
	焼却炉上屋	"	19.04	不明	増加	H				H	19.04	不明	
					減少	H				H			
	解剖室	"	24.90	不明	増加	H				H	24.90	不明	
					減少	H				H			
(管理棟)	鳥取市国安210-13	185.71	不明	増加	H				H	185.71	不明		
				減少	H				H				
(精液採取棟)	"	123.08	不明	増加	H				H	123.08	不明		
				減少	H				H				
(繋留場)	"	36.40	不明	増加	H				H	36.40	不明		
				減少	H				H				
計			829.44	不明							829.44	不明	
普通財産	該当なし				増加	H				H			
					減少	H				H			
合計			829.44	不明							829.44	不明	

ウ 山林
該当なし

エ 動産
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年5月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手類	14,060	22,200	26,230	10,030	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	7,090	30,100	20,700	16,490	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

(3) 債 権

(平成26年5月31日現在)

債権の名称	前年度末 現在高		本 年 度 中				差引		備 考
			増		減				
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
行政財産使用料	1	円 21,000	0	円 0	1	円 10,500	1	円 10,500	中電 支柱等7本
普通財産使用料	1	46,180	0	0	1	46,180	0	0	家畜診療所 進入通路
合 計	2	67,180	0	0	2	56,680	1	10,500	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成26年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	配電線設備	鳥取市国安 210	支柱等7本	H22.4.1	H7.4.1	H22.4.1~ H27.3.31	単価・年額 10,500	10,500	鳥取市新品治1番地6 中国電力株式会社鳥取営業所	
計								10,500		
普通財産	家畜診療所 進入通路	鳥取市国安 210 - 13	191.78㎡	H22.4.1	H22.4.1	H22.4.1~ H26.3.31	単価・年額 46,180	46,180	鳥取市吉方温泉3丁目811 番地 鳥取県農業共済組合連合会	
計								46,180		
合計								56,680		

イ 建物

(平成26年5月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	(社)鳥取県畜産 推進機構の薬品 冷蔵庫設置場所	鳥取市国安210	1.0㎡	H25.4.1	H21.4.1	H25.4.1~ H26.3.31	単価・年額 7,980	7,980	鳥取市末広温泉町733番地 (社)鳥取県畜産推進機構	
計								7,980		

(2) 物品

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市国安210-13	12.5	1,000
普通財産			

イ 異動状況

(行政財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	うち減免	人	うち減免	人			
4月	6人	0人		0人		6人		6,000円	/	/
5月	6	0		0		6	6,000			
6月	6	0		0		6	6,000			
7月	6	0		0		6	6,000			
8月	6	0		0		6	6,000			
9月	6	0		0		6	6,000			
10月	6	0		0		6	6,000			
11月	6	0		0		6	6,000			
12月	6	0		0		6	6,000			
1月	6	0		0		6	6,000			
2月	6	0		0		6	6,000			
3月	6	0		0		6	6,000			
合計							72,000	円		

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし

2.2 事業別予算執行状況調べ

目名	家畜保健衛生費	(平成26年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜衛生対策事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜伝染病予防事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	

2.3 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成25年2月1日	前年同期	備考
乳用牛	19戸 1,156頭	20戸 1,201頭	△1戸 △45頭
肉用牛	59戸 4,780頭	61戸 4,745頭	△2戸 35頭
養豚	5戸 2,628頭	5戸 2,575頭	53頭
養鶏	10戸 426千羽	10戸 449千羽	△23千羽

(注) 鳥取家畜保健衛生所調べ

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成26年5月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病 予防事業	ブルセラ病	検査	4月～3月	管内一円	210頭	220頭	
	結核病	〃	〃	〃	250頭	217頭	
	ヨーネ病	〃	〃	〃	945頭	814頭	家伝法51条20頭含
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	500羽	890羽	
	ふそ病	〃	5月～8月	〃	350群	405群	
	馬伝染性貧血	〃	4月～3月	〃	22頭	12頭	
	牛伝染性疾病	〃	4月～3月	〃	4,000頭	11,091頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	2,000頭	2,167頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	45,000羽	58,910羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	0頭	0頭	
	羊伝染性疾病	〃	〃	〃	20頭	0頭	
	牛アカバネ病等	〃	6月～11月	〃	72頭	76頭	
	牛白血病	〃	4月～3月	〃	630頭	491頭	
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	〃	〃	〃	20頭	311頭	
	牛サルモネラ症	〃	〃	〃	120頭	100頭	
	オーエスキー病	〃	〃	〃	130頭	51頭	
	豚コレラ	〃	〃	〃	45頭	51頭	
	豚繁殖・呼吸器障害	〃	〃	〃	45頭	51頭	
	豚流行性下痢・伝染性胃腸炎	〃	〃	〃	45頭	37頭	
	豚サルモネラ症	〃	〃	〃	20頭	10頭	
高病原性鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	440羽	450羽		
鶏サルモネラ症	〃	〃	〃	10羽	26羽		
病性鑑定	〃	〃	〃	—	569件	牛 536、鶏 20 豚 6、他 7	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜衛生 対策事業	家畜衛生関連 情報整備対策	情報収集	4月～3月	管内一円	12回	12回	
	診断予防技術 向上対策	検査指導	"	"	1戸 20頭	2戸 11頭	牛ウイルス性下痢・粘膜病 抗体調査
	動物用医薬品 危機管理対策	検査指導	"	"	5戸	5戸	(対象菌:大腸菌) 牛(肉用牛)2戸2頭 鶏3戸3羽(採卵2・肉用2)
		立入検査	"	"	20店舗	24店舗	動物用医薬品販売業者
	地域衛生管理 対策	管理基準 確認指導	"	"	牛 81戸 豚 5戸	牛 78戸 豚 5戸	遵守状況確認 (管内牛・豚全戸)
		乳房炎 検査指導	"	"	検査 延40戸 検討会 1回	検査 延19戸 検討会 1回	バルク乳検査 (管内酪農家全戸)
		幼畜疾病対策	"	"	牛 5戸×4回 豚 5戸×4回 検討会 1回	牛 5戸×4回 豚 3戸×4回 検討会 1回	子牛・子豚の肺炎、下痢症
		分析指導	"	"	検討会 1回	検討会 1回	(豚1回)
	流通飼料対策	立入検査 収去検査	"	"	立入 5戸 収去 1戸	立入 5戸 収去 1戸	牛 5戸 肉骨粉検査 1業者 1検体